

株主通信

2019年2月期 中間

(2018年3月1日～2018年8月31日)



株主の皆様へ

2019年2月期(以下「当期」)は、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の2期目、かつ「成長基盤の構築」の時期と位置づけた前半3ヶ年の中間折り返し地点でもあります。ここに、当中間期の事業活動の概要をご報告いたします。

代表取締役社長 伏島 巖

当中間期の事業活動レビュー

| 医薬品分野 |

国内では、政府目標である「ジェネリック医薬品80%」に向けた機械装置需要が前期に一服しましたが、医薬品製造工場の生産効率化などに向けた引き合いの大型化や、高薬理活性製剤に対応するコンテインメント需要などの設備投資に復調の兆しがあります。医薬品添加剤領域では、後発医薬品メーカー向けの営業強化が奏功し、販売量が増加しています。

海外では、米国や南米において、循環的な需要回復による機械装置への引き合いが出始めています。また、新規投資案件が多い中国では、特に機械販売が好調でした。一方、インドでは、医薬品添加剤の販売が好調でした。

| 非医薬品分野 |

機械部門では、中国を中心としたリチウムイオン電池業界で、正極材・負極剤の高速混合粉砕機の販売を伸ばしています。日本では、健康志向の高まりやインバウンド需要の拡大で食品や健康食品業界からの引き合いが伸長し、加えて化粧品業界からの引き合いも強まっています。化成部門では、当社独自のエタノール蒸散機能に脱酸素機能を併せた食品品質保持剤「ネガモールド」シリーズが好調で、設備増強により需要拡大への対応を図りました。

中長期を見据えた新たな取り組み

当社グループは、中計3期目を見据え、中長期的視点から、盤石な成長基盤構築に地道に取り組んでいます。以下は、当中間期の戦略的取り組み事例です。

| 連続生産領域の市場開拓本格化とグローバル展開 |

国内医薬品業界は、将来を見通すことが難しい激動の時代に入っています。このような環境下で成長を持続するには製品力が極めて重要ととらえ、新製品開発を強化しています。当中間期は、日本の大手新薬メーカーより戦略製品の連続造粒システム「Granuformer」を初受注しました。欧米が先行してきた連続生産ですが、日本でもようやくニーズが顕在化してきたと言えます。この好機をしっかりとらえ、「フロイントらしい」製品力をもって、機械装置、医薬品添加剤ともに連続生産の市場を開拓し、『ONE FREUND』の価値観のもと、グローバル展開をより一層積極化してまいります。

| 医薬品添加剤事業のグローバル化推進 |

医薬品産業の育成や低品質医薬品の規制を強化する中国が大規模市場に変貌しつつあり、事業機会ととらえています。また、欧米市場に展開する製薬メーカーへのアプローチ強化に加え、アジア地域での販売代理店網を急ピッチで構築しています。すでに、インド、中国、韓国、台湾、インドネシアの代理店と提携し、下半期以降は新規案件獲得に向けたグローバル展開を加速してまいります。

機械部門

「Granuformer」による連続生産システム

受注活動が本格化



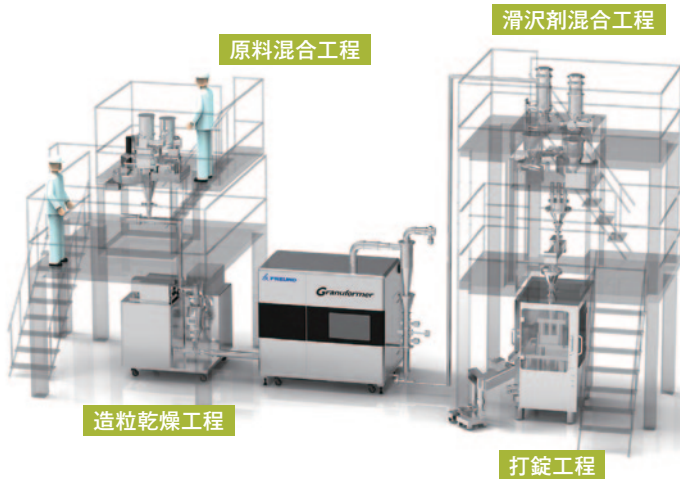
戦略製品である「Granuformer」は、従来のバッチ式から連続式へ生産方法を転換する革新的な装置です。PAT(Process Analytical Technology：プロセス解析工学)を用いた当社独自の品質管理・自動制御機能を搭載し、医薬品製造に必須である“品質が管理された状態”の保証を実現します。

この「Granuformer」の前後に混合設備を配置し、それらと打錠機を一体化させた錠剤生産システムは、原料粉末の投入から打錠までの工程を連続化することにより、最終製品である錠剤形成までをスピーディかつワンプロセスで生産できます。また、品質に優れた錠剤をオンデマンドで少量から大量まで自在に生産できるようになりました。

近年、欧米市場では、連続生産を通じて医薬品製造の生産性向上や品質安定化、コスト低減を図る活動が拡大しつつありましたが、同様の取り組みが日本市場においても加速する傾向にあります。その流れのなかで、田辺三菱製薬(株)様、三菱ケミカルエンジニアリング(株)様より「Granuformer」を初受注しました。今後は、国内での拡販を図るとともに、欧米での営業活動を強化する方針です。

連続生産システムの概要

原料供給～混合～造粒～乾燥～滑沢剤・後末混合～打錠までを一連の流れで実施します。また、PATを駆使し、各工程で品質モニタリングを行います。



化成品部門

食品品質保持剤「アンチモールド」

第21回日食優秀食品 資材部門賞を受賞

受賞

日食優秀食品機械・資材・素材賞
日本食糧新聞社

エチルアルコールを粉末・ゲル状にし、小袋に充填、それを食品に添付することにより品質を保持し、作りたての味を食卓にお届けする食品品質保持剤「アンチモールド」シリーズ。“日本生まれ”の鮮度保持技術で加工食品業界のニーズに応え続け、国内外で100億個以上の累計販売実績を積み上げてきました。

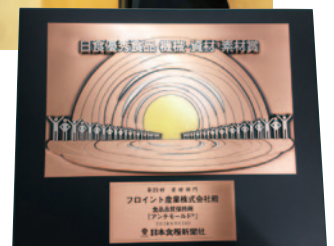
発売から40年目を迎えた本年、製品の安全性や長年培ってきたノウハウ・技術サポートが評価され、「アンチモールド」が日本食糧新聞社制定の平成30年度(第21回)「日食優秀食品機械・資材・素材賞」(資材部門)を受賞しました。

フードロスの削減や少子高齢化という社会的流れのなか、食の個包装化はさらに進むことが見込まれます。当社は現在、食品品質保持剤の中長期的な需要拡大を見据え、製品ラインアップの拡充や生産体制の強化などに取り組んでいます。これらを通じ、今後とも安全な食生活に貢献し続けたいと考えています。

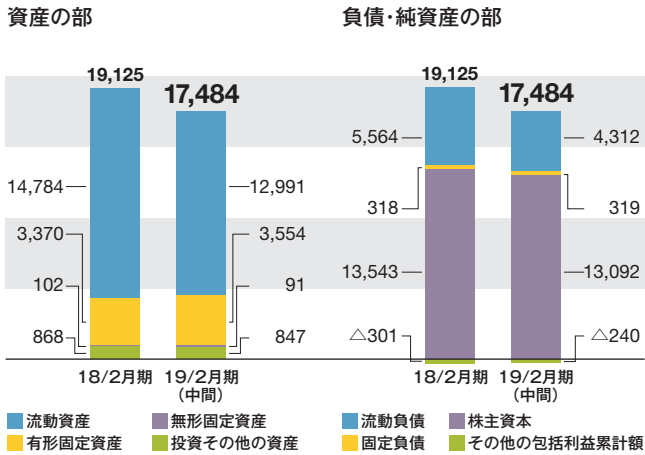
第21回 日食優秀食品 機械・資材・素材賞
第22回 業務用加工食品ヒット賞
第6回 地域食品産業貢献賞



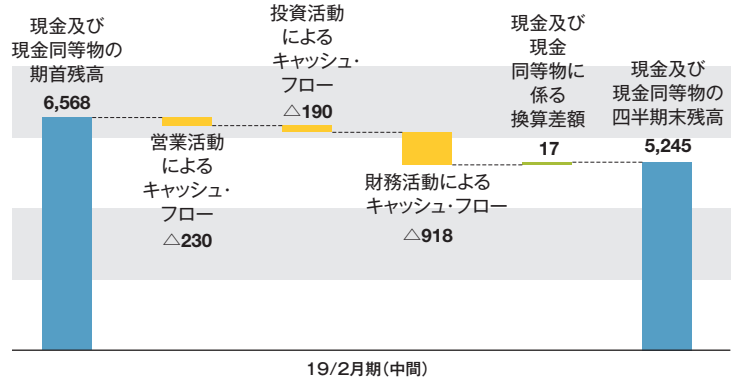
授賞式の様子



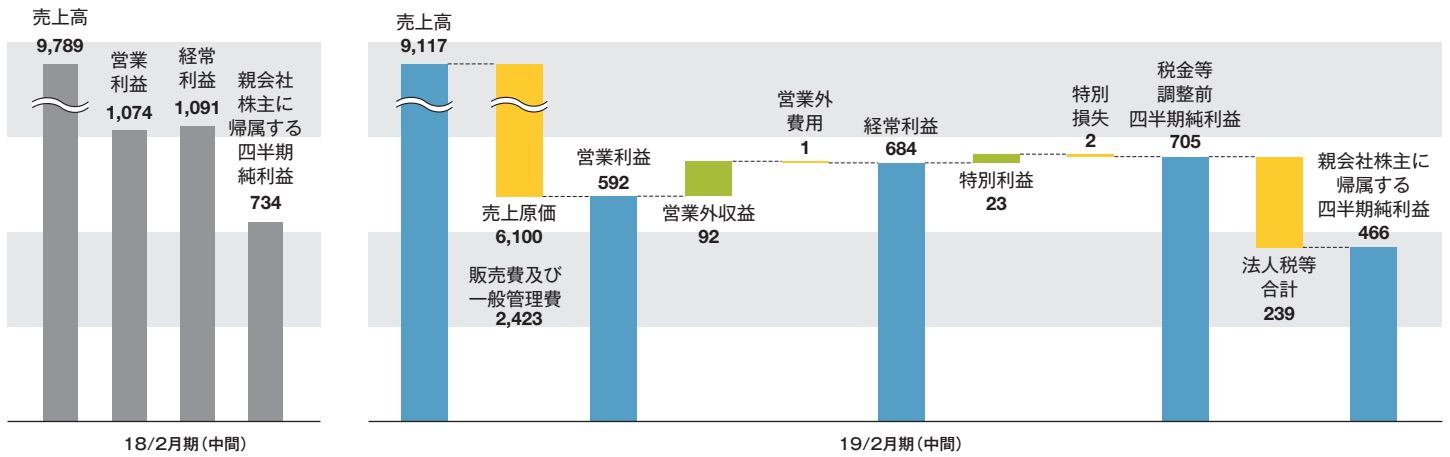
連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



REVIEW OF OPERATIONS

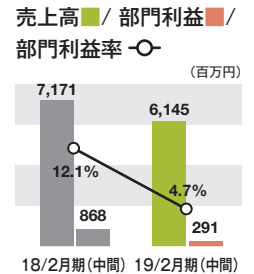
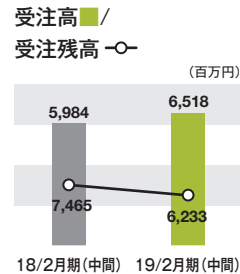
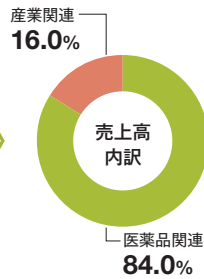
事業概況



医薬品、食品、ファインケミカルなどの様々な分野向けに、造粒、コーティング装置などを製造・販売

グループ会社

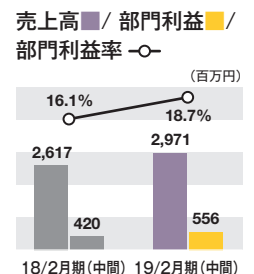
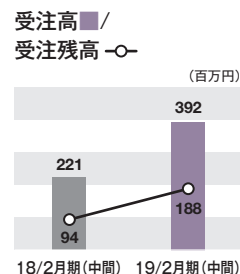
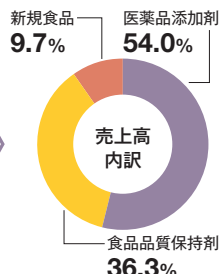
フロイント産業株式会社
フロイント・ターボ株式会社
FREUND-VECTOR CORPORATION



医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売

グループ会社

フロイント産業株式会社



会社概要

商号	フロイント産業株式会社
英文商号	Freund Corporation
設立	1964年4月22日
資本金	10億3,560万円
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品等の開発・製造販売
従業員数	415名(連結)

本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル
ホームページ	http://www.freund.co.jp
関連会社	<p>【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売</p> <p>【アメリカ】 FREUND-VECTOR CORPORATION 粉粒体機械装置の製造・販売</p>

名誉会長	
名誉会長	伏島 靖豊
役員	
代表取締役社長	伏島 巖
常務取締役	白鳥 則生
取締役	武井 成通
社外取締役	真鍋 朝彦
社外取締役	中竹 竜二
社外取締役	今田 修
常勤監査役	小林 正
社外監査役	佐藤 光昭
社外監査役	菅原 正則
社外監査役	泉本 小夜子

STOCK INFORMATION 株式情報 (2018年8月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	14,433名

大株主の状況

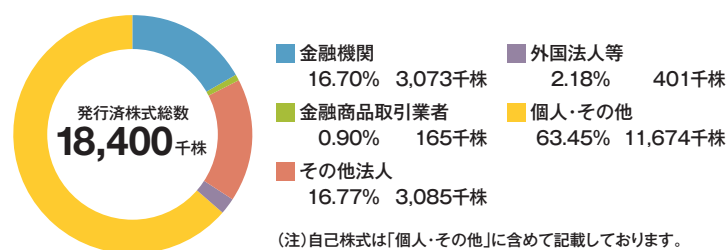
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,321	7.89
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
(株)大川原製作所	673	4.02
フロイント従業員持株会	412	2.46
(株)静岡銀行	368	2.20
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	364	2.18
明治安田生命保険相互会社	360	2.15
伏島巖	277	1.66

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

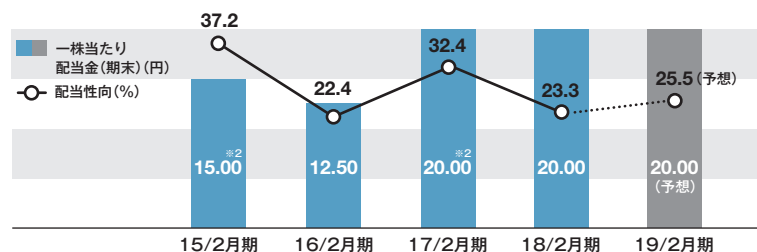
株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移※1



※1: 2016年3月1日付で、当社普通株式を1株につき2株の割合をもって分割しましたが、2015年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
※2: 2015年2月期は記念配当2.50円、2017年2月期は記念配当5.00円含む。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○コーポレート・コミュニケーション部 03(6890)0767 ○URL <http://www.freund.co.jp>

